



ふざけるな！
僕の相棒に
何をしゃがる!!



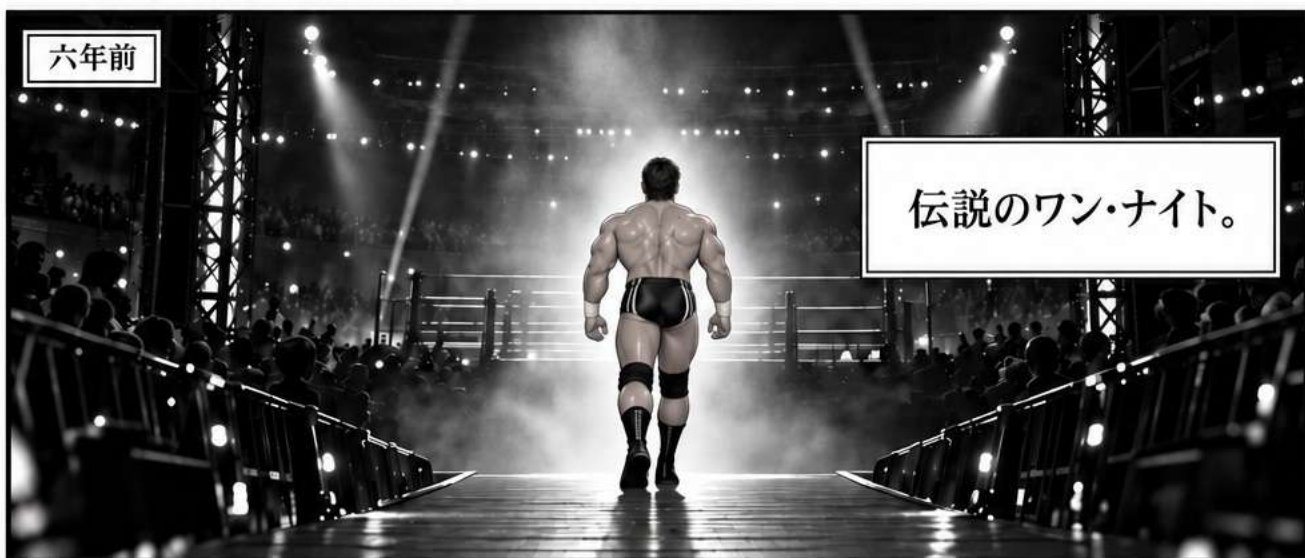
俺が馬鹿に
されると
ハンターは
本気で怒る



なんで、
そんなに
仲がいいのかって？



六年前の、
あの試合だ。



六年前

伝説のワン・ナイト。



俺がベルトを
奪った、
その一週間後。



実況
新進気鋭の
スーパーヒーロー、
ハンター！

実況
狂人カクタスマンを、
地獄へ送れるのか!?





綿密に打ち合わせ、
何度もリハーサルを
した。



こんなのは
やめよう。
あり得ない。

こんなの、
プロレスじゃ
ない！



いいからやるんだ。
俺の心配はするな。



この通りにやれば、
最高のショーになる。



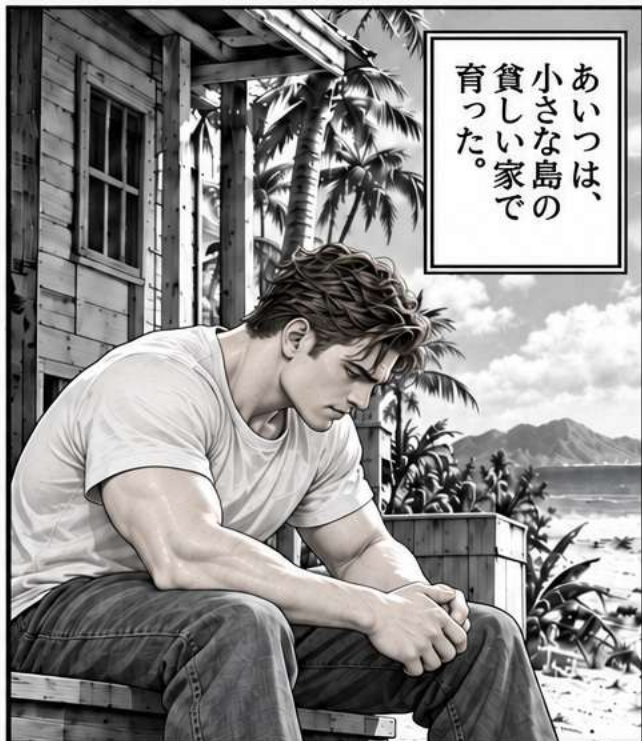
あんたを、
殺してしまうかも。



安心しろ。
俺は不死身だ。



お前は、
スターに
なるんだろう？







怖くない
わけじゃない。



だけど、
お前を
スターにする。

そのために、
俺がいる。

実況

なんてことだ！
これは、
なんていう大事故だ!!

八メートル。



右腕の骨。
齒が二本。

それでも、
ショーは続く。



医者が駆けつけ、
応急処置が始まる。



だが、カクタスマンは
目を覚ます。

ここからが、俺の仕事だ。



会場は、
悲鳴に包まれた。



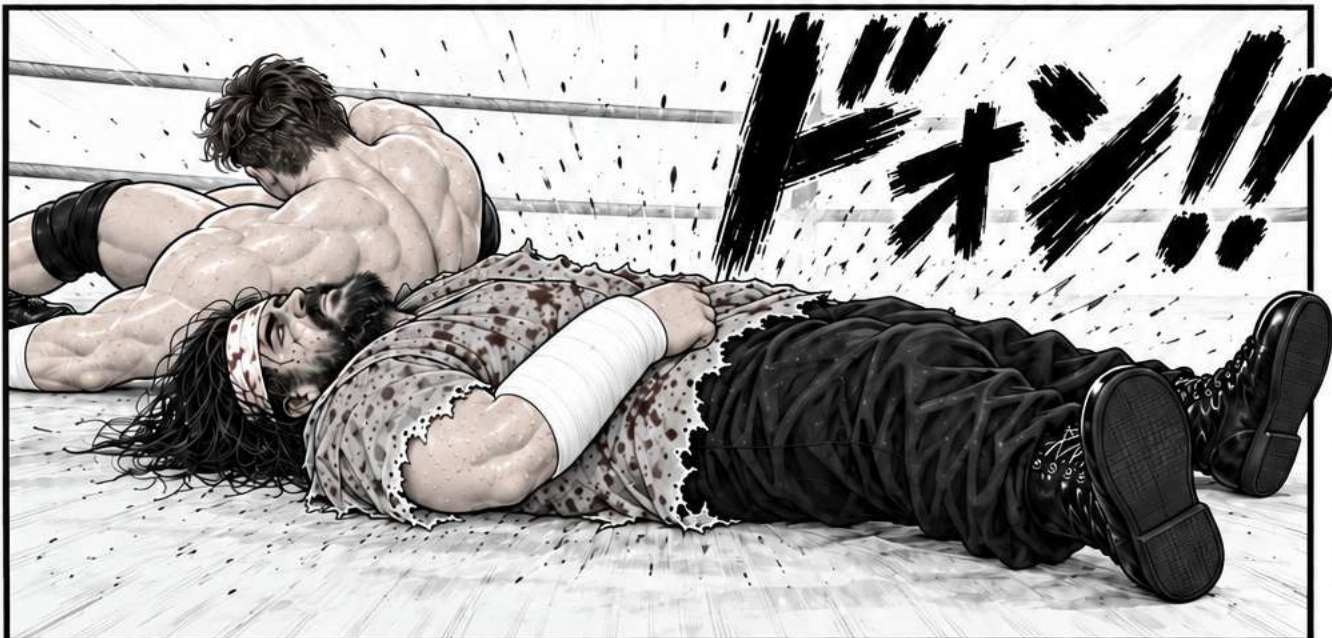
狙い通りにな！



—実況—
この男は、
まだ終わらない！



実況
ハンターが、
カクタスマンを
投げ飛ばす！







右腕を折り、
歯を二本なくした。



先週

一週間前に
奪ったベルトも、
もう返還だ。



俺は、
悪役だからな。

でも、自分の足で
戻った。







現在

誰もが、
スーパースターに
なれるわけじゃない。



悪人や弱者がいるから、
スーパーマンはスーパーマンだ。





だから、
俺は今日も
リングに上がる。



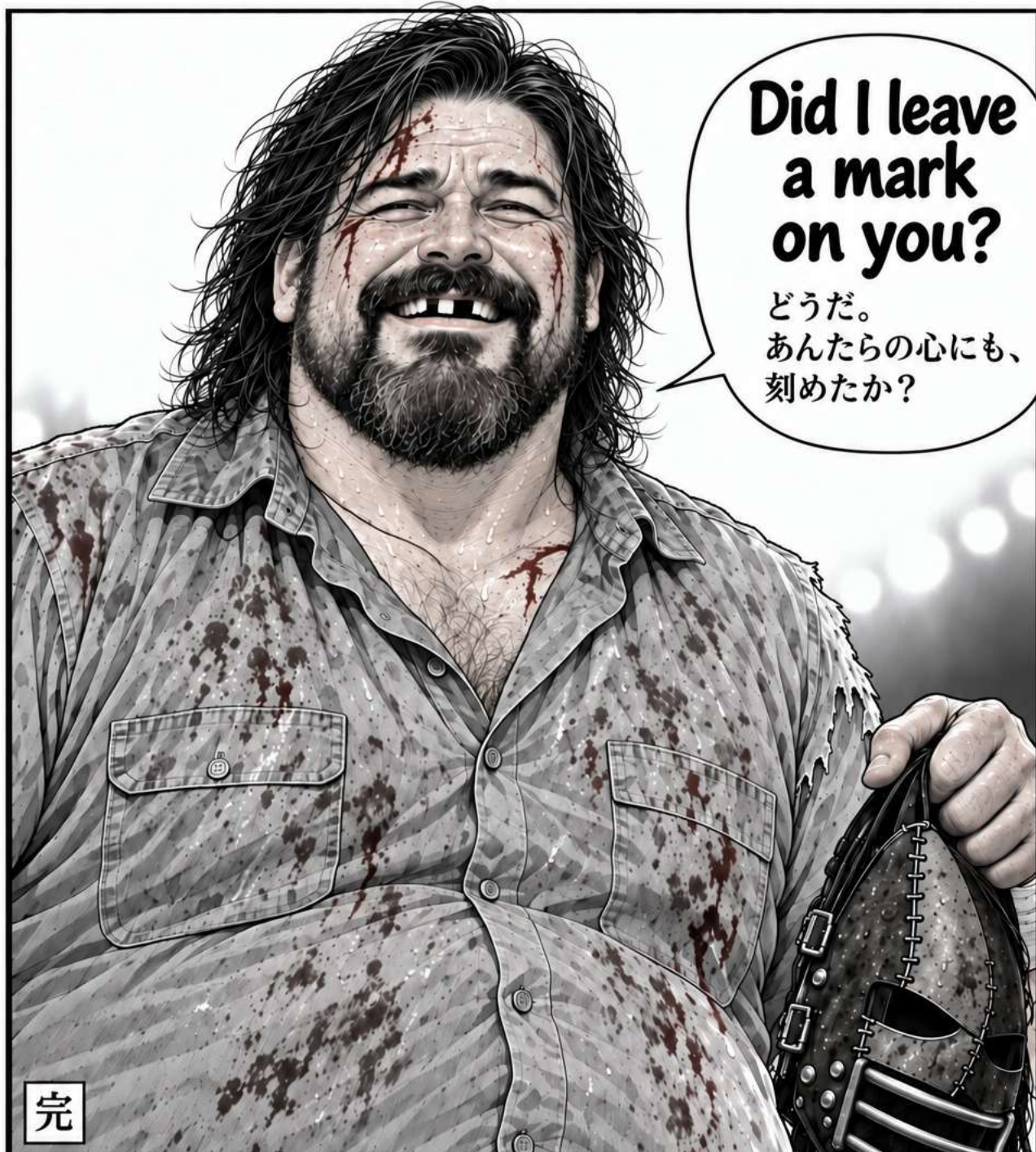
そして、
ボコボコにされる。



あまり家族を
心配させないように、
とは思うけどな。



みんなが無様な
俺を求める限り、
リングに上がり
続ける。



**Did I leave
a mark
on you?**

どうだ。
あんたらの心にも、
刻めたか？

完